

平成18年度東京都病院会計決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象 病院経営本部

2 審査の手続

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表、総勘定元帳その他の帳簿及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

また、本事業の経営状況を把握するため計数の分析を行うとともに、経済性の発揮及び公共性の確保の観点から事業運営が適切に行われているかを検証した。

3 審査の期間 平成19年6月1日から同年9月3日まで

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、病院事業の経営成績及び財政状態を、別項指摘事項を除き適正に表示しているものと認められる。

2 事業運営について

平成18年度の病院事業は、普通病院7、小児病院2、精神科病院2の計11病院において、病床数5,515床の施設規模により運営され、年間延べ患者数は、入院で173万65人、外来で206万9,050人となっている。

これを前年度と比較すると、入院では21万905人、外来では31万4,482人それぞれ減少している。

収支状況は、総収益1,317億余円に対し、総費用1,318億余円であり、差引き6千万余円の純損失となっている。

財政状況は、資産1,959億余円、負債262億余円及び資本1,697億余円となっている。

当年度の経営状況は、医業費用以上に医業収益が減少したものの、荏原病院を財団法人東京都保健医療公社（以下、「公社」という。）に移管したことに伴い、土地を一般会計に有償所属換したため、特別利益が27億余円生じたことから、前年度20億余円あった純損失が6千万余円となった。

本部は、「都民に対する『行政的医療』の適正な提供」と「患者中心の医療」を実現するため、都立病院改革実行プログラムを平成15年1月に策定し、経営革新や再編整備などを推進することとしている。

しかしながら、外来患者及び入院患者数が減少傾向にあることなどから、表1のとおり、経常

収益が減少する中、経常費用が経常収益を上回る状態が継続しており、経営面では、依然として厳しい状況にあるため、より一層の経営努力が必要である。

(表1) 経常損益の推移

(単位：億円)

区 分	経常収益 (A)	一般会計		経常費用 (B)	経常損益 (C) = (A) - (B)
		自己収益	繰入金		
平成15年度	1,483	1,079	404	1,497	13
平成16年度	1,388	1,017	370	1,419	31
平成17年度	1,393	1,033	360	1,416	22
平成18年度	1,290	933	356	1,316	26

3 指摘事項について

(1) 決算に関するもの

ア 会計処理を適正に行うべきもの

駒込病院における修繕費（収益的支出）の執行状況について見たところ、表2のとおり、本部の規定する修繕支弁基準に基づかない、不適正な会計処理が見受けられた。

会計処理を適正に行われたい。

(表2) 収益的支出としているが資本的支出とすべきもの

件 名	契約金額 (円)	支出科目		施工内容
		正	誤	
2号館トイレ 排水設備修繕	1,575,000	工事費 (資本的支出)	修繕費 (収益的支出)	既存の洋式便器にノタッチ洗 浄システムを付加
4F中央トイレ 取替修繕	1,417,500	工事費 (資本的支出)	修繕費 (収益的支出)	和式便器を洋式便器(温 水洗浄便座やノタッチ洗浄シ ステム付)に取替え
合 計	2,992,500			

イ 固定資産売却益に係る会計処理を改めるべきもの

本部は、平成18年4月1日に荏原病院を公社に移管するに当たり、同病院の土地（40,056.2㎡）を病院会計から一般会計へ有償所属換（137億8,734万4,040円）している。

この有償所属換に伴い生じた固定資産売却益に係る会計処理について見たところ、代価の支払条件を5年年賦（平成18年度～平成22年度）としたことから、本部は回収の危険性もあると判断し、初年度（平成18年度）分の収入である27億4,802万3,877円を特別利益に計上し、残額4か年分の109億9,209万5,508円については、固定負債科目の繰延年賦売却益に計上している。

ところで、企業会計原則注解（昭和29年7月14日大蔵省企業会計審議会公表）第二の三注6（4）では、割賦販売については、商品等を引き渡した日をもって売上収益の実現の日とするとしている。その一方、割賦販売は通常の販売と異なり、その代金回収の期間が長期にわたり、かつ、分割払いであることから代金回収上の危険率が高いので、貸倒引当金等の計上に特別の配慮を要するが、その算定に当たっては、不確実性と煩雑さを伴う場合が多く、割賦金の回収期限の到来の日又は入金の日をもって売上収益実現の日とすることも認められるとしている。

しかしながら、土地を有償所属換した相手方は東京都の一般会計であることから、代価を回収できない危険性は極めて低く、土地を一般会計に所属換した日（平成18年4月1日）をもって収益の実現があったとみなすべきであり、固定資産売却益の全額を一括して特別利益に計上することが、より妥当な会計処理である。

本部は、荏原病院の土地の有償所属換に伴って生じた固定資産売却益に係る会計処理を改められたい。

(2) その他に関するもの

ア 不納欠損処分に係る事務処理等を適切に行うべきもの

本部では、診療費の未収金について、督促から3年が経過した場合などに不納欠損処分（衛生局債権管理事務処理要綱第18条）を行っている。

債権の消滅時効期間については、「東京都立病産院診療未収金管理要領」で次のとおり定めている。

（ア）納入通知書及び督促状が有効に相手方に到達したとき、当該納入通知書及び督促状の発行日をもって、時効を中断させる。この場合は、納入通知書及び督促状に指定した納付期限の翌日より新たに時効期間を起算する。

（イ）納付延期措置の場合には、当該申請書を受理した日をもって、債務承認の日として時効を中断させる。

ところで、広尾病院、墨東病院及び駒込病院の不納欠損処分について見たところ、表3のとおり、

納入通知書又は督促状に指定した納付期限の翌日から3年が経過していないもの
納付延期措置の手続きにより時効が中断してから3年が経過していないもの
など、時効が完成していないにもかかわらず、不納欠損処分を行っている不適切な事例が認められた。

各病院は、不納欠損処分に係る事務処理を適切に行われたい。

また、現状では、不納欠損処分に当たり債務者の状況を調査するなどの規定はないが、経済状態の改善など状況が変化している可能性もあることから、不納欠損処分を行う場合には、債務者の状況について再調査を行われたい。

(表 3) 不納欠損処分が不適切な事例

不適切な事由	病院名	件数	不納欠損額（円）
納入通知書又は督促状に指定した納付期限の翌日から3年が経過していないもの	広尾病院	2	2,593,470
	墨東病院	1	25,090
	小 計	3	2,618,560
納付延期措置の手続きにより時効が中断してから3年が経過していないもの	駒込病院	2	362,870
	墨東病院	1	38,550
	小 計	3	401,420
合 計		6	3,019,980

第3 経営状況の概要

1 経営成績について

(1) 業務実績について

ア 入院患者実績について

当年度の入院患者実績は、表4のとおり、173万65人であり、前年度(194万970人)と比較して21万905人(10.9%)減少している。

これは主に、荏原病院を公社に移管したことによるものである。

(表4) 入院患者の実績比較表

(単位：床、人、%)

区 分	平成18年度			平成17年度			対前年度比較(増 減)			
	病床数	一日当り	年延べ(A)	病床数	一日当り	年延べ(B)	病床数	一日当り	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	3,923	3,486	1,272,487	4,423	3,989	1,455,889	500	503	183,402	12.6
広尾	476	423	154,496	476	399	145,388	0	24	9,108	6.3
大塚	500	436	159,146	500	446	162,900	0	10	3,754	2.3
駒込	801	707	258,200	801	737	268,912	0	30	10,712	4.0
豊島	360	278	101,555	360	321	117,281	0	43	15,726	13.4
荏原	-	-	-	500	426	155,413	500	426	155,413	100
墨東	729	681	248,341	729	678	247,305	0	3	1,036	0.4
府中	761	698	254,592	761	698	254,824	0	0	232	0.1
神経	296	263	96,157	296	284	103,866	0	21	7,709	7.4
小児病院	345	257	93,755	345	260	94,798	0	3	1,043	1.1
清瀬	255	188	68,509	255	186	67,906	0	2	603	0.9
八王子	90	69	25,246	90	74	26,892	0	5	1,646	6.1
精神科病院	1,247	997	363,823	1,305	1,069	390,283	58	72	26,460	6.8
松沢	1,005	810	295,619	1,063	877	320,024	58	67	24,405	7.6
梅ヶ丘	242	187	68,204	242	192	70,259	0	5	2,055	2.9
合 計	5,515	4,740	1,730,065	6,073	5,318	1,940,970	558	578	210,905	10.9

(注) 病床数は、予算定床数である。

病床種別の病床数及び病床利用率は、表5のとおりである。病床数は、前年度に比較して全体で558床の減少となっている。これは主に、荏原病院を公社に移管したことによるものである。なお、病床利用率は、85.9%となっている。

(表5) 病床種別の病床数及び病床利用率比較表

(単位：床、人、%)

区 分	平成18年度				平成17年度				対前年度比較(増減)			
	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率
普通病床	4,079	3,645	1,330,256	89.3	4,529	4,118	1,503,172	90.9	450	473	172,916	1.6
精神病床	1,310	1,063	388,099	81.2	1,398	1,164	424,784	83.2	88	101	36,685	2.0
結核病床	86	32	11,635	37.1	86	35	12,815	40.8	0	3	1,180	3.7
感染症病床	40	0	75	0.5	60	1	199	0.9	20	1	124	0.4
合 計	5,515	4,740	1,730,065	85.9	6,073	5,318	1,940,970	87.6	558	578	210,905	1.7

- (注) 1 病床数は、予算定床数である。
 2 病床利用率は年延べ患者数を病床数×暦日で除したものである。
 3 精神病床は広尾・豊島・荏原・墨東・府中・松沢・梅ヶ丘の各病院に、結核病床は府中・清瀬小児の各病院に、感染症病床は駒込・豊島・荏原・墨東の各病院に設置している。

イ 外来患者実績について

当年度の外来患者実績は、表6のとおり、206万9,050人であり、前年度(238万3,532人)と比較して31万4,482人(13.2%)減少している。これは主に、荏原病院を公社に移管したことによるものである。

(表6) 外来患者の実績比較表

(単位：人、%)

区 分	平成18年度		平成17年度		対前年度比較(増減)		
	一日当り	年延べ(A)	一日当り	年延べ(B)	一日当り	年延べ(C)=(A)-(B)	率(C)/(B)×100
普通病院	6,151	1,808,370	7,199	2,116,515	1,048	308,145	14.6
広尾	783	230,264	762	223,885	21	6,379	2.8
大塚	838	246,401	838	246,388	0	13	0.0
駒込	1,231	361,962	1,252	368,204	21	6,242	1.7
豊島	481	141,398	561	164,963	80	23,565	14.3
荏原	-	-	994	292,153	994	292,153	100
墨東	1,252	368,021	1,276	375,115	24	7,094	1.9
府中	1,549	455,334	1,492	438,708	57	16,626	3.8
神経	17	4,990	24	7,099	7	2,109	29.7
小児病院	380	111,855	402	118,262	22	6,407	5.4
清瀬	286	84,157	282	82,859	4	1,298	1.6
八王子	94	27,698	120	35,403	26	7,705	21.8
精神科病院	507	148,825	506	148,755	1	70	0.0
松沢	371	108,968	372	109,440	1	472	0.4
梅ヶ丘	136	39,857	134	39,315	2	542	1.4
合 計	7,038	2,069,050	8,107	2,383,532	1,069	314,482	13.2

(2) 経営成績について

平成18年度における経営成績は、表7(詳細は、別表1比較損益計算書)のとおり、医業損益は、212億余円の損失であり、前年度(208億余円)の損失と比較して、4億余円(2.2%)増加している。経常損益は、26億余円の損失であり、前年度(22億余円)と比較して、3億余円(17.7%)増加している。純損益は、前年度20億余円の純損失であったが、当年度は6千万余円の純損失となっている。

(表7) 経営成績比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	増 () 減	
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医 業 収 益	103,678	113,327	9,649	8.5
医 業 費 用	124,963	134,144	9,181	6.8
医 業 損 益	21,285	20,817	468	2.2
医 業 外 収 益	25,330	26,032	701	2.7
医 業 外 費 用	6,704	7,474	769	10.3
経 常 損 益	2,659	2,259	399	17.7
特 別 利 益	2,748	367	2,380	646.9
特 別 損 失	148	152	3	2.3
純 損 益	60	2,044	1,983	97.0

ア 収益について

総収益は、表8のとおり、1,317億余円であり、前年度(1,397億余円)と比較して、79億余円(5.7%)減少している。

医業収益は1,036億余円であり、前年度(1,133億余円)と比較して、96億余円(8.5%)減少している。

これは主に、入院収益が72億余円、外来収益が23億余円それぞれ減少したことによるものである。入院収益及び外来収益の減少は、主に荏原病院を公社に移管したことによるものである。

医業外収益は253億余円であり、前年度(260億余円)と比較して、7億余円(2.7%)減少している。

これは主に、一般会計負担金が7億余円減少したことによるものである。

特別利益は27億余円(前年度3億余円)であり、これは、荏原病院を公社に移管したことに伴い土地(40,056.2㎡)を一般会計へ有償所属換したことによるものである。

(表8) 収益比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	増()減	
			金 額	率
			(C)=(A)-(B)	(C)/(B)×100
医業収益	103,678	113,327	9,649	8.5
入院収益	63,563	70,844	7,281	10.3
外来収益	22,625	24,966	2,340	9.4
一般会計負担金	15,820	15,687	133	0.8
その他医業収益	1,668	1,829	161	8.8
医業外収益	25,330	26,032	701	2.7
受取利息及び配当金	2,988	2,851	136	4.8
一般会計負担金	1,720	2,446	726	29.7
一般会計補助金	18,119	17,889	229	1.3
国庫補助金	206	315	109	34.7
その他医業外収益	2,296	2,528	231	9.2
特別利益	2,748	367	2,380	646.9
総収益	131,756	139,727	7,971	5.7

一般会計からの繰入金は表9のとおり356億余円であり、前年度(360億余円)と比較して、3億余円減少している。

このうち一般会計負担金は、精神科病院運営経費が2億余円増加しているものの、病院の建設改良に要する経費が7億余円減少したことにより、5億余円減少している。

また、一般会計補助金は、病院の建設改良に要する経費が3億余円減少しているものの、がん医療などの高度医療経費が2億余円、周産期医療などの特殊医療経費が3億余円それぞれ増加したことにより、合計で2億余円増加している。

(表9) 一般会計繰入金内訳比較表

(単位：百万円)

区 分	平成18年度	平成17年度	増()減
一般会計負担金	17,540	18,134	593
医業収益	15,820	15,687	133
救急医療経費	5,552	5,496	56
精神科病院運営経費	6,604	6,337	266
小児医療経費	1,704	1,735	31
保健衛生行政経費	1,959	2,117	157
医業外収益	1,720	2,446	726
建設又は改良に要する経費	1,720	2,446	726
一般会計補助金	18,119	17,889	229
医業外収益	18,119	17,889	229
高度医療経費	8,216	7,957	258
特殊医療経費	9,010	8,688	321
建設又は改良に要する経費	892	1,243	350
合 計	35,660	36,024	364

イ 費用について

総費用は、表10のとおり、1,318億余円であり、前年度(1,417億余円)と比較して、99億余円(7.0%)減少している。

医業費用は、1,249億余円であり、前年度(1,341億余円)と比較して、91億余円(6.8%)減少している。これは主に、荏原病院を公社に移管したことなどにより給与費が39億余円、減価償却費が18億余円、経費が17億余円、材料費が15億余円それぞれ減少したものである。

医業外費用は、67億余円であり、前年度(74億余円)と比較して、7億余円(10.3%)減少している。これは主に、雑支出が3億余円増加したものの、荏原病院を公社に移管したことなどに伴い支払利息及企業債取扱諸費が10億余円減少したことによるものである。

特別損失は1億余円である。これは主に、府中病院の旧看護職務住宅の除却によるものである。

なお、給与費・職員数等については表11のとおりとなっている。

(表10)費用比較表

(単位：百万円)

区 分	平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	増()減	
			金額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業費用	124,963	134,144	9,181	6.8
給与費	66,561	70,530	3,968	5.6
材料費	26,873	28,421	1,548	5.4
経費	20,062	21,776	1,713	7.9
減価償却費	10,602	12,500	1,898	15.2
資産減耗費	191	225	34	15.4
研究研修費	672	689	17	2.5
医業外費用	6,704	7,474	769	10.3
支払利息及企業債取扱諸費	2,612	3,689	1,077	29.2
繰延勘定償却	472	472	0	0.1
雑支出	3,619	3,312	306	9.3
特別損失	148	152	3	2.3
総費用	131,817	141,771	9,954	7.0

(表11)給与費明細比較表

(単位：千円)

区 分	平成18年度	平成17年度	増()減
給料	26,003,853	28,334,013	2,330,159
職員手当	22,757,676	24,216,267	1,458,591
法定福利費	8,245,963	8,770,644	524,680
計	57,007,494	61,320,925	4,313,431
職員数	6,211人	6,765人	554人
平均年齢	40歳2月	39歳2月	1歳
職員1人当たり給与費	7,698千円	7,694千円	4千円

- (注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在である。また、職員数には、再任用短時間勤務者(平成18年度21人、平成17年度30人)を含む。
 2 職員1人当たり給与費は、(給料+手当)÷月当たり平均職員数である。

事業の収益性を示す経営比率は、表12のとおりである。荏原病院を公社に移管したことなどに伴い、入院患者及び外来患者の減少により営業利益（医業損益）が減少したため、総費用対総収益比率を除いた各比率は前年度より低下している。

（表12）経営比率の推移

（単位：％）

項目	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	算式
経営資本 営業利益率	22.1	12.8	12.1	11.5	13.5	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}}$
営業収益 営業利益率	42.6	21.1	19.7	18.4	20.5	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
総費用対 総収益比率	102.0	100.6	99.9	101.5	100.0	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$
自己収支比率	70.2	72.1	71.7	73.0	70.9	$\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}}$

（注）1 経営資本 = 総資本 - （建設仮勘定 + 投資 + 繰延勘定）

2 自己収支比率 = 病院事業収益（一般会計繰入金及び特別利益を除く。） ÷ 病院事業費用（特別損失を除く。）

2 財政状態について

（1）資本的収支について

資本取引に係る資金の動きを示す資本的収支の状況は、表13のとおりである。

資本的収入は88億余円であり、前年度（111億余円）と比較して、23億余円（20.7％）減少している。

これは主に、固定資産売却収入が6億余円（228.7％）増加したものの、一般会計出資金が26億余円（40.1％）減少したことによるものである。

資本的支出は150億余円であり、前年度（153億余円）と比較して、2億余円（1.7％）減少している。

これは、建設改良費が16億余円（23.2％）増加したものの、企業債償還金が18億余円（22.3％）減少したことによるものである。

資金収支の状況は、表14のとおり、差引額は62億余円の財源不足となっている。これを損益勘定留保資金で補てんした結果、全体としては21億余円の財源余剰となっている。

なお、当年度末における資金残高は、表15のとおりである。

(表13) 資本の収支比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	増()減		
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100	
資 本 の 入	企業債	3,768	4,000	231	5.8
	一般会計出資金	3,995	6,675	2,680	40.1
	国庫補助金	159	185	26	14.4
	固定資産売却収入	912	277	634	228.7
	その他資本的収入	0	4	4	100
	計	8,835	11,143	2,307	20.7
資 本 の 出	建設改良費	8,552	6,943	1,608	23.2
	企業債償還金	6,512	8,375	1,863	22.3
	計	15,064	15,319	255	1.7
差引資本的収支	6,229	4,176	2,052	49.1	

(表14) 資金収支表

(単位：百万円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出(A)	15,064	資本的収入(B)	8,835
		資本的収支資金不足額 (C)=(A)-(B)	6,229
		当期純損失	60
		損益勘定留保資金	11,405
		(減価償却費)	10,602
		(繰延勘定償却)	472
		(固定資産除却費等)	330
		消費税資本的収支調整額	71
		不動産信託受益権	2,929
		資本剰余金取崩	6
		計(D)	8,338
収益的収支の資金剰余額 (E)=(D)	8,338		
当年度資金剰余額 (F)=(E)-(C)	2,109		
合計(A)+(F)	17,173	合計(B)+(D)	17,173

(表15) 年度末資金残高表

(単位：百万円)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
流動資産(A)	30,826	35,044	34,022	36,520	40,063
流動負債(B)	12,013	16,018	15,445	13,799	15,233
年度末資金残高(A - B)	18,813	19,026	18,577	22,721	24,830

(2) 資産、負債及び資本について

当年度末の資産、負債及び資本の状況は、別表2比較貸借対照表のとおりである。

資産総額は、1,959億余円で、前年度(2,014億余円)と比較して、55億余円(2.7%)減少している。

これは主に、流動資産が35億余円増加したものの、固定資産が89億余円減少したことによるものである。

流動資産の増加は、主に、未収金が73億余円減少したものの、現金預金が110億余円増加したことによるものである。

固定資産の減少は、主に、投資が152億余円増加したものの、荏原病院の土地等を一般会計に有償所属換したことにより有形固定資産が239億余円減少したことによるものである。

負債総額は262億余円であり、前年度(137億余円)と比較して、124億余円(90.0%)増加している。

これは主に、その他固定負債の繰延年賦売却益が109億余円、未払金が14億余円それぞれ増加したことによるものである。

資本総額は1,697億余円であり、前年度(1,876億余円)と比較して、179億余円(9.6%)減少している。

これは主に、自己資本金が39億余円増加しているものの、荏原病院に付随する企業債を一般会計に引き継いだため、借入資本金が220億余円減少したことによるものである。

次に、当年度における有利子負債及び支払利息等の状況は、表16のとおりであり、有利子負債が220億余円、支払利息等が10億余円それぞれ減少している。

(表16) 有利子負債及び支払利息等の状況

(単位：百万円)

区 分		平成18年度 末残高(A)	平成18年度		平成17年度 末残高(B)	増()減 (A) - (B)
			増 加	減 少		
有利子負債	企業債	89,730	3,769	25,813	111,774	22,044
区 分		平成18年度支払額 (C)		平成17年度支払額 (D)		増()減 (C) (D)
支払利息等	企業債利息及企業債取扱諸費	2,612		3,690		1,077

以上の財政状態を財務比率の推移で見ると、表17のとおりである。

自己資本構成比率及び固定長期適合率は前年度より改善されている。これは自己資本金が39億余円増加したことなどによるものである。

(表17) 財務比率の推移

(単位：%)

項目	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	算式
流動比率	256.6	218.8	220.3	264.7	263.0	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本構成比率	34.6	34.3	35.2	37.7	40.8	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	88.5	88.0	88.0	85.9	84.3	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

2 長期資本 = 資本金 + 剰余金 + 固定負債

3 建設改良事業について

建設改良事業は、建設改良工事、器械及備品の整備を行っており、表18のとおり、予算額143億余円に対し、決算額85億余円であり、執行率は59.5%となっている。

(表18) 建設改良事業執行状況

(単位：百万円、%)

区分	予算額(A)	決算額(B)	執行率(B)/(A) × 100	不用額(A) - (B)
建設改良工事	10,384	5,174	49.8	5,209
器械及備品	3,979	3,377	84.9	602
計	14,363	8,552	59.5	5,811

(1) 建設改良工事について

建設改良工事は、予算額103億余円に対し、決算額51億余円であり、執行率は49.8%となっている。

工事の主なものは、多摩メディカル・キャンパス(仮称)の整備(33億余円)、大塚病院における省エネルギーサービスESCO事業(3億余円)である。不用額の主なものは、多摩メディカル・キャンパス(仮称)の整備において、建設工事費の年度別支払額変更などによる執行残36億余円及び契約差金6億余円である。

(2) 器械及備品の整備について

器械及備品の整備は、予算額39億余円に対し、決算額33億余円であり、執行率は84.9%となっている。

整備購入した医療器械の主なものは、CTスキャナー2台(3億余円)、磁気共鳴断層撮影装置1台(2億余円)である。

(別表1) 比較損益計算書

(単位:円、%)

科 目	平成18年度	平成17年度	増 () 減	
	金 額 (A)	金 額 (B)	金 額 (C)	率 (C)/(B) × 100
医業収益	103,678,025,274	113,327,484,116	9,649,458,842	8.5
入院収益	63,563,449,952	70,844,513,528	7,281,063,576	10.3
外来収益	22,625,702,568	24,966,037,694	2,340,335,126	9.4
一般会計負担金	15,820,635,000	15,687,441,000	133,194,000	0.8
その他医業収益	1,668,237,754	1,829,491,894	161,254,140	8.8
医業費用	124,963,456,932	134,144,758,713	9,181,301,781	6.8
給与費	66,561,400,167	70,530,400,074	3,968,999,907	5.6
材料費	26,873,170,872	28,421,300,046	1,548,129,174	5.4
経費	20,062,872,609	21,776,768,861	1,713,896,252	7.9
減価償却費	10,602,775,829	12,500,958,580	1,898,182,751	15.2
資産減耗費	191,171,887	225,870,241	34,698,354	15.4
研究研修費	672,065,568	689,460,911	17,395,343	2.5
医業損益	21,285,431,658	20,817,274,597	468,157,061	2.2
医業外収益	25,330,573,250	26,032,348,191	701,774,941	2.7
受取利息及配当金	2,988,247,731	2,851,413,507	136,834,224	4.8
一般会計負担金	1,720,176,000	2,446,642,000	726,466,000	29.7
一般会計補助金	18,119,189,000	17,889,917,000	229,272,000	1.3
国庫補助金	206,391,000	315,940,000	109,549,000	34.7
その他医業外収益	2,296,569,519	2,528,435,684	231,866,165	9.2
医業外費用	6,704,820,809	7,474,789,524	769,968,715	10.3
支払利息及企業債取扱諸費	2,612,468,856	3,689,865,641	1,077,396,785	29.2
繰延勘定償却	472,600,137	472,106,486	493,651	0.1
雑支出	3,619,751,816	3,312,817,397	306,934,419	9.3
経常損益	2,659,679,217	2,259,715,930	399,963,287	17.7
特別利益	2,748,023,877	367,931,244	2,380,092,633	646.9
特別損失	148,871,784	152,302,700	3,430,916	2.3
当年度純損失	60,527,124	2,044,087,386	1,983,560,262	97.0
当年度未処理欠損金	5,827,927,535	5,767,400,411	60,527,124	1.0

(別表2) 比較貸借対照表

(単位:円、%)

科 目	平成18年度		平成17年度		増 () 減	
	金 額 (A)	構成比 (%)	金 額 (B)	構成比 (%)	金 額 (C)	率 (C)/(B) × 100
固定資産	152,292,522,786	77.7	161,235,409,210	80.0	8,942,886,424	5.5
有形固定資産	119,692,410,421	61.1	143,689,075,397	71.3	23,996,664,976	16.7
土地	1,735,787,169	0.9	1,783,011,824	0.9	47,224,655	2.6
立木	228,350,119	0.1	264,095,218	0.1	35,745,099	13.5
建物	182,775,382,689	93.3	214,878,523,839	106.7	32,103,141,150	14.9
建物減価償却累計額	90,042,214,464	46.0	98,451,694,689	48.9	8,409,480,225	8.5
構築物	8,385,482,592	4.3	9,211,655,093	4.6	826,172,501	9.0
構築物減価償却累計額	5,028,157,545	2.6	5,274,996,089	2.6	246,838,544	4.7
器械及備品	60,954,541,699	31.1	66,124,287,047	32.8	5,169,745,348	7.8
器械及備品減価償却累計額	43,141,509,321	22.0	46,111,520,549	22.9	2,970,011,228	6.4
車両	78,310,500	0.0	83,340,410	0.0	5,029,910	6.0
車両減価償却累計額	69,483,403	0.0	74,212,786	0.0	4,729,383	6.4
建設仮勘定	3,815,920,386	1.9	1,256,586,079	0.6	2,559,334,307	203.7
無形固定資産	1,227,433,903	0.6	1,419,424,598	0.7	191,990,695	13.5
無形固定資産	1,227,433,903	0.6	1,419,424,598	0.7	191,990,695	13.5
投資	31,372,678,462	16.0	16,126,909,215	8.0	15,245,769,247	94.5
年賦未収金	14,260,284,244	7.3	570,867,414	0.3	13,689,416,830	-
不動産信託受益権	32,863,433,874	16.8	29,933,847,185	14.9	2,929,586,689	9.8
不動産信託仮勘定	17,690,222,706	9.0	16,314,910,434	8.1	1,375,312,272	8.4
その他投資	1,939,183,050	1.0	1,937,105,050	1.0	2,078,000	0.1
流動資産	40,063,887,557	20.4	36,520,721,069	18.1	3,543,166,488	9.7
現金預金	16,909,939,670	8.6	5,896,639,193	2.9	11,013,300,477	186.8
現金	93,213,778	0.0	88,493,583	0.0	4,720,195	5.3
預金	16,816,725,892	8.6	5,808,145,610	2.9	11,008,580,282	189.5
未収金	22,482,484,925	11.5	29,845,891,015	14.8	7,363,406,090	24.7
医業未収金	16,134,643,766	8.2	19,136,640,748	9.5	3,001,996,982	15.7
医業外未収金	2,189,562,967	1.1	3,827,121,342	1.9	1,637,558,375	42.8
その他未収金	4,158,278,192	2.1	6,882,128,925	3.4	2,723,850,733	39.6
貯蔵品	670,729,228	0.3	776,821,752	0.4	106,092,524	13.7
材料	648,934,950	0.3	750,471,670	0.4	101,536,720	13.5
その他貯蔵品	21,794,278	0.0	26,350,082	0.0	4,555,804	17.3
その他流動資産	733,734	0.0	1,369,109	0.0	635,375	46.4
前払金	733,734	0.0	1,369,109	0.0	635,375	46.4
繰延勘定	3,594,967,233	1.8	3,709,316,258	1.8	114,349,025	3.1
控除対象外消費税額	3,594,967,233	1.8	3,709,316,258	1.8	114,349,025	3.1
控除対象外消費税額	3,594,967,233	1.8	3,709,316,258	1.8	114,349,025	3.1
資産合計	195,951,377,576	100	201,465,446,537	100	5,514,068,961	2.7

(単位:円、%)

科 目	平成18年度		平成17年度		増 () 減	
	金 額 (A)	構成比 (%)	金 額 (B)	構成比 (%)	金 額 (C)	率 (C)/(B) × 100
固定負債	10,992,095,508	5.6	0	0	10,992,095,508	-
その他固定負債	10,992,095,508	5.6	0	0	10,992,095,508	-
繰延年賦売却益	10,992,095,508	5.6	0	0	10,992,095,508	-
流動負債	15,233,689,012	7.8	13,799,528,865	6.8	1,434,160,147	10.4
未払金	15,231,983,367	7.8	13,797,548,711	6.8	1,434,434,656	10.4
医業未払金	9,201,911,456	4.7	8,516,343,805	4.2	685,567,651	8.1
建設改良未払金	3,863,715,751	2.0	3,016,245,556	1.5	847,470,195	28.1
貯蔵品購入未払金	2,061,657,479	1.1	2,224,563,145	1.1	162,905,666	7.3
未払消費税及地方消費税	77,484,200	0.0	0	0	77,484,200	-
過誤納還付金	2,422,281	0.0	4,446,411	0.0	2,024,130	45.5
その他未払金	24,792,200	0.0	35,949,794	0.0	11,157,594	31.0
その他流動負債	1,705,645	0.0	1,980,154	0.0	274,509	13.9
預り金	1,649,685	0.0	1,980,154	0.0	330,469	16.7
その他流動負債	55,960	0.0	0	0	55,960	-
負債合計	26,225,784,520	13.4	13,799,528,865	6.8	12,426,255,655	90.0
資本金	169,606,893,778	86.6	187,656,110,645	93.1	18,049,216,867	9.6
自己資本金	79,876,462,877	40.8	75,881,462,877	37.7	3,995,000,000	5.3
借入資本金	89,730,430,901	45.8	111,774,647,768	55.5	22,044,216,867	19.7
企業債	89,730,430,901	45.8	111,774,647,768	55.5	22,044,216,867	19.7
剰余金	118,699,278	0.1	9,807,027	0.0	108,892,251	-
資本剰余金	5,946,626,813	3.0	5,777,207,438	2.9	169,419,375	2.9
受贈財産評価額	2,752,997,976	1.4	2,733,534,461	1.4	19,463,515	0.7
国庫補助金	2,940,303,928	1.5	2,785,702,068	1.4	154,601,860	5.5
その他資本剰余金	253,324,909	0.1	257,970,909	0.1	4,646,000	1.8
欠損金	5,827,927,535	3.0	5,767,400,411	2.9	60,527,124	1.0
当年度未処理欠損金	5,827,927,535	3.0	5,767,400,411	2.9	60,527,124	1.0
資本合計	169,725,593,056	86.6	187,665,917,672	93.2	17,940,324,616	9.6
負債・資本合計	195,951,377,576	100	201,465,446,537	100	5,514,068,961	2.7